

Case Study

ゲストハウスを兼ねた体験型アンテナショップの提案



対象とする空き家の現状。住宅街にひっそりと佇む。

03 Site

鹿児島県鹿児島市西田一

鹿児島のメインターミナル鹿児島中央駅の西側に位置する空き家を対象に「SATSUMA HOUSE」の一例としてゲストハウス兼体験型アンテナショップを提案します。この「SATSUMA HOUSE」は周辺の「SATSUMA HOUSE」(ゲストハウス)の管理棟(受付・カギの受け渡し)として、機能します。

敷地面積: 55 m²ほど

構造: 木造2階

鹿児島中央駅まで徒歩13分



04 空間コンセプト

鹿児島の県産材や竹を用いたデザイン

「SATSUMA HOUSE」は鹿児島の丁寧な暮らしを支える作品を扱います。鹿児島出来の作品を扱う場として、県産の建材を用いることで空間の調和を図ります。鹿児島県産の杉は一般的に赤みを帯びている特徴があります。これを「SATSUMA HOUSE」のアイコンとして外装にも内装にもあしらいます。県産杉を「SATSUMA HOUSE」に用いることで地材地建を実現し、地域に密着し貢献します。また、鹿児島の有名な竹細工を細部にあしらい繊細な雰囲気をつくります。これらの地域由来の素材の選択は作り手、使い手と共に愛着を産みます。

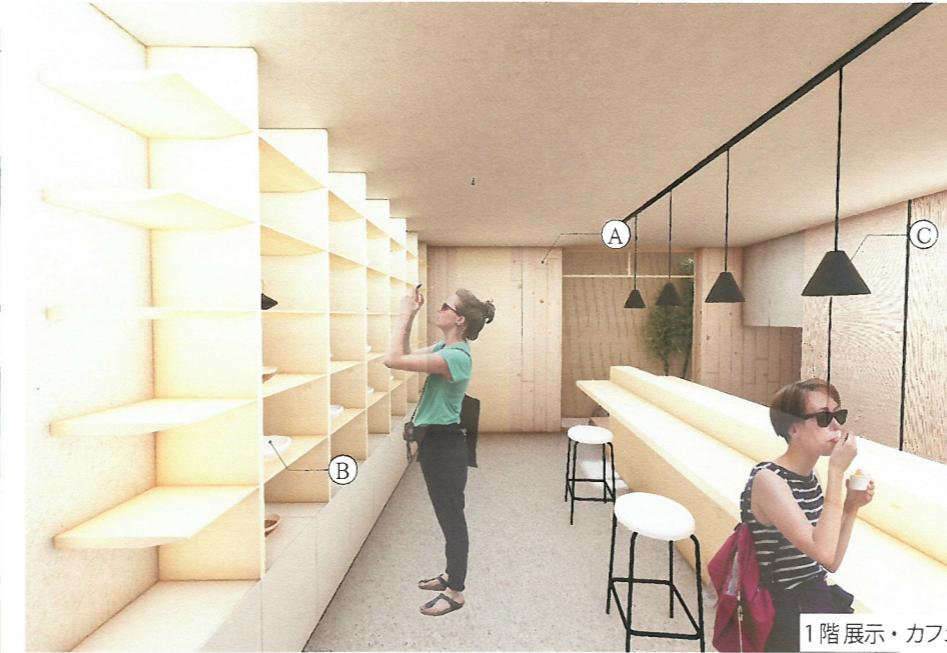
05 みんなでつくる「SATSUMA HOUSE」

これからの鹿児島になれる若い人材の教育に貢献

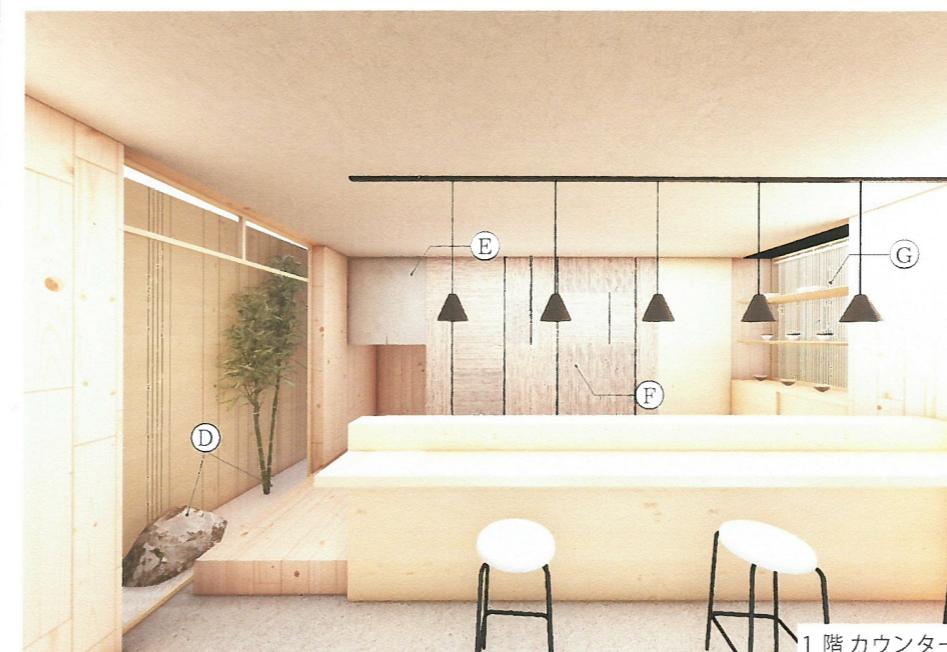
「SATSUMA HAUSE」は県内の学生が主体となって設計・施工を行います。地方都市鹿児島において若い人材が鹿児島に残り働くことはこれからの鹿児島を考えた時、非常に心強いことではないでしょうか。

「SATSUMA HAUSE」は授業の一環として学生を介入させることにより、若い人材の教育、ひいては、鹿児島に思い出と成果を残した若い人材の活躍できる土壤を形成させます。

同時に、「SATSUMA HAUSE」プロジェクトの低コスト化を実現します。



1階展示・カフェ



1階カウンター

- Ⓐ 県産材 杉
- Ⓑ ディスプレイ 作家の作品
- Ⓒ ペンダントライト 作家作品
- Ⓓ 桜島の溶岩と竹
- Ⓔ 大島紬 暖簾

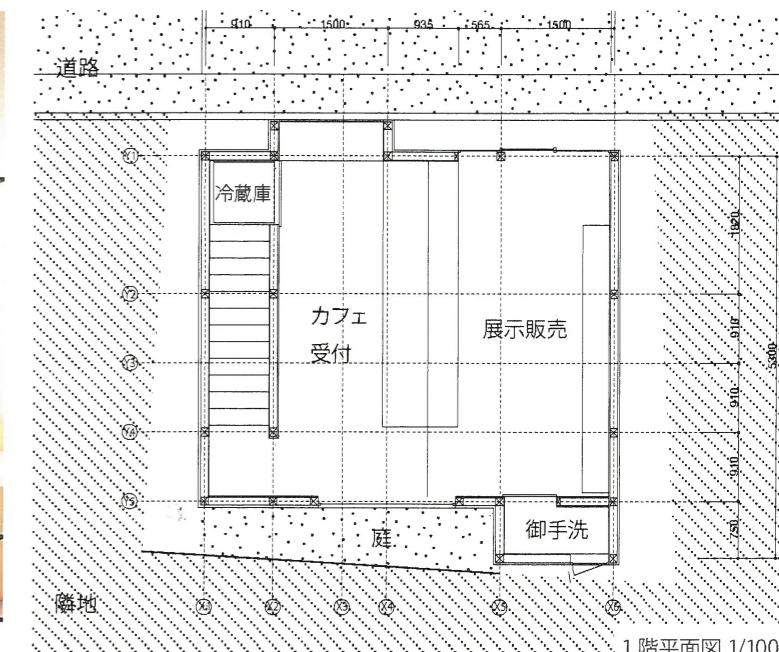
ディスプレイされた器を自分で選んで使うことができる体験型飲食空間。ここでは、昼は鹿児島のお茶をメインとしたカフェに、夜は焼酎をメインとしたバーとなる。鹿児島の素材や伝統工芸が随所に散りばめられ、訪れた人は経営者と楽しくおしゃべりしながら、5感で鹿児島を感じることができます。



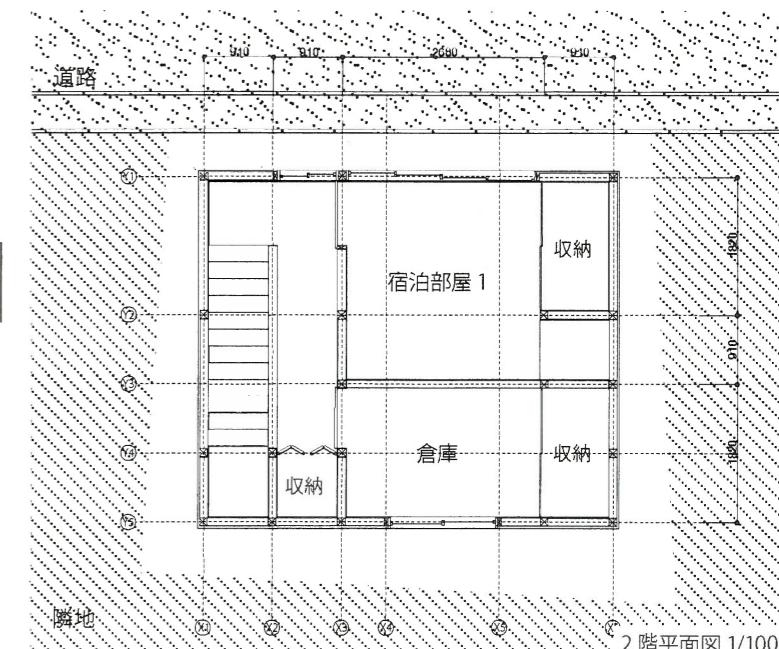
2階宿泊部屋

- Ⓕ アクセント壁 木彫り作家
- Ⓖ 竹細工
- Ⓗ 染物 部屋着

宿泊部屋では、鹿児島の織物を部屋着として着ることができる。ここでは、入浴、食事は外で済まし、晩酌と寝るためだけの「SATSUMA HOUSE」として機能する。



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

1階は、作家の器を選んで、お茶、お酒が飲めるカフェ・バーとゲストハウス受付
2階は、宿泊部屋と倉庫。ここでは宿泊部屋は1室であるが、周辺の「SATSUMA HOUSE」に宿泊部屋を用意しており、主に管理棟して機能する。